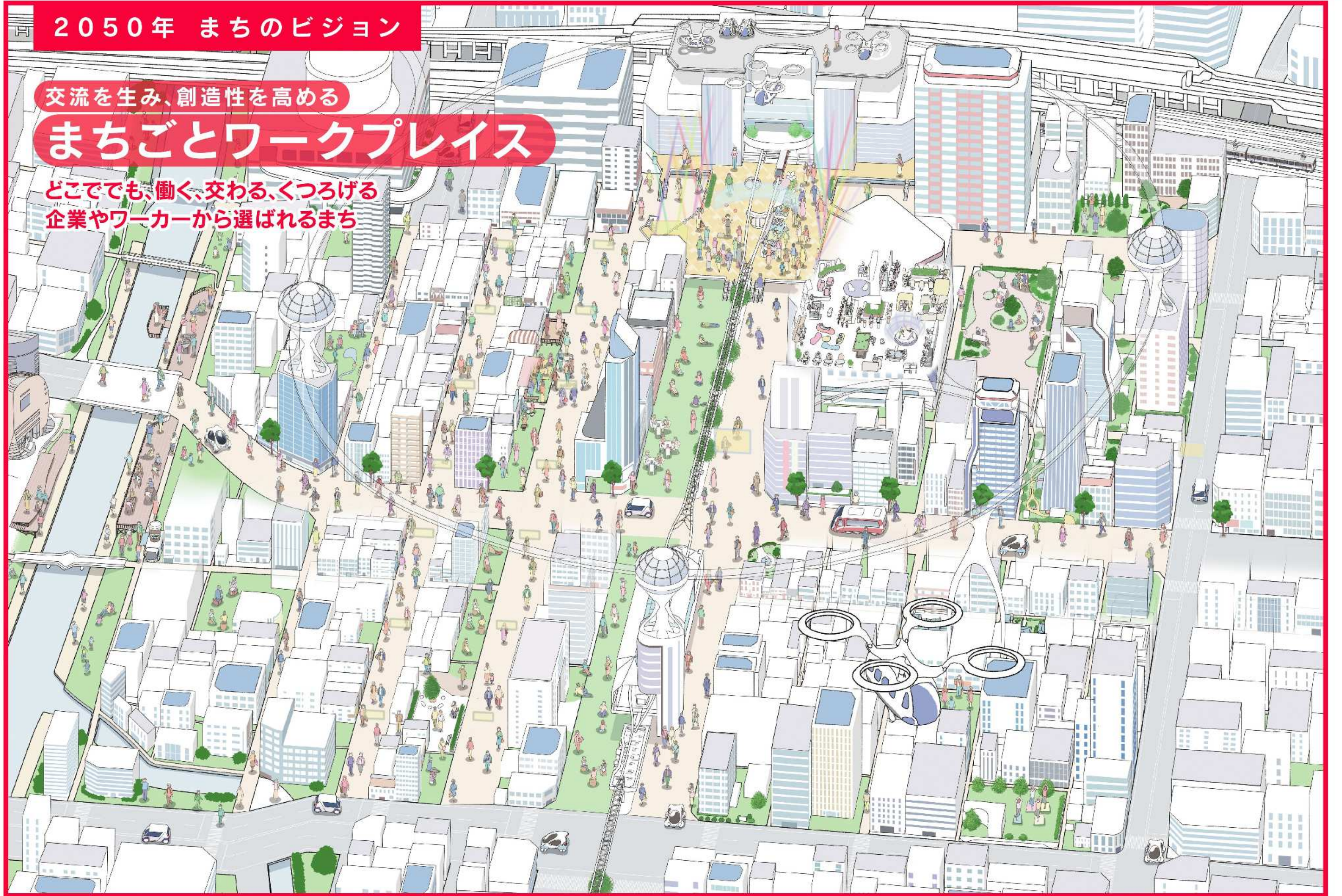


2050年 まちのビジョン

交流を生み、創造性を高める

まちごとワークプレイス

どこでも、働く、交わる、くつろげる
企業やワーカーから選ばれるまち



4. 地区の「将来の姿」を描く STEP.3

2050年 まちづくりの方針

01. オフィスでも、アウトドアでも、好きな場所、好きな時間に快適に働ける環境



▲公園等を活用したワーケーション



▲公共空間における通信環境等の向上(道路・公園・広場等)



▲ビジネスパーソンのにぎい空間



▲多様な働き方が可能なスペース(シェアオフィス・コワーキングスペース・スマートビル等)



▲オフィスと住宅が混在する複合用途型マンション

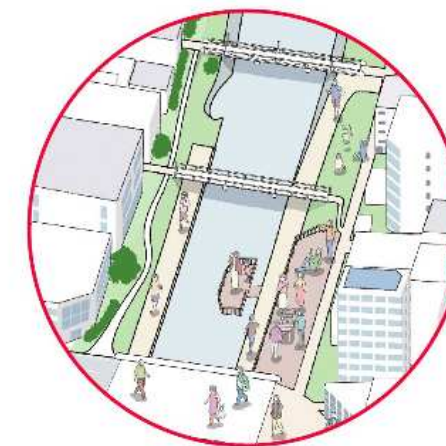
02. くつろげる、リフレッシュできる、リセットできる、自分の時間を過ごせる場



▲水を感じられる・水辺に座ってくつろげる河川空間



▲芸術・文化に気軽に触れ合う仕掛け



▲広場のガーデンカフェ・バー



▲まちに開放されたオープンカフェ・バー

4. 地区の「将来の姿」を描く STEP.3

2050年 まちづくりの方針

03. 車優先からヒト優先の道路空間へ



Before
After



▲ 道路空間の再編(フルモール)

▲ 自家用車等の通行規制(進入制限・ハンブの設置等)



▲ ループバス・デマンド型バスなど回遊性を高めるMaaSの展開



▲ 道路空間の再編(トランジットモール)

04. ウォーカブルな、歩いて楽しいストリート



▲ 路地裏空間の界索性



▲ 低未利用民有地を公共空間として活用



▲ オープンな沿道店舗を含む街路空間再編



▲ 水辺空間を飲食・休憩スペースに

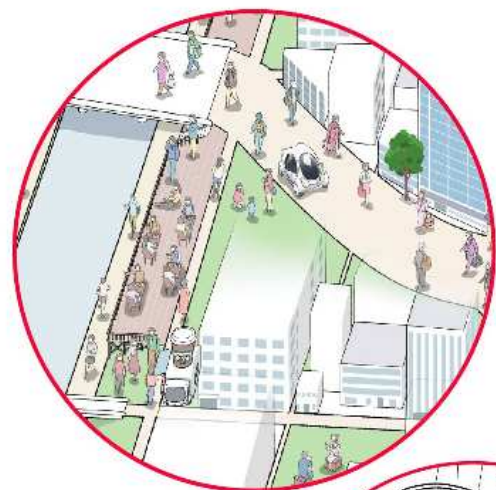


▲ 通りと一体になった憩いの空間創出

4. 地区の「将来の姿」を描く STEP.3

2050年 まちづくりの方針

05. 稼げる、表現できる、交流できるステージ、賑わいと出会いの場



▶▶ 自己表現の場



▶▶ 民間が稼げる公共空間



▶▶ 多種多様な活動を支える冗長性ある広場

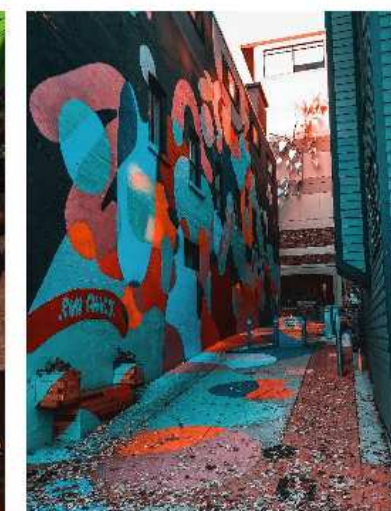
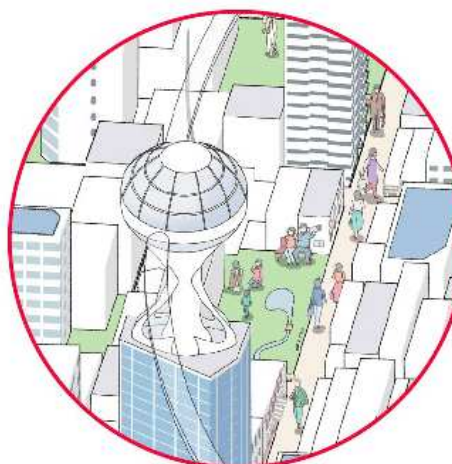
06. シンボリックな空間



▶▶ 駅周辺の景観形成



▶▶ 駅前のシンボルストリート



▶▶ 路地裏のフォトジェニックストリート